

# 白銀の約束



from Haruka3 Izayoiki



もう来ないで  
ください



泰衡様からの  
ご命令で

命令、  
命令、  
命令って

あなたが来ると  
先輩は…っ！

やめて…



そうは  
まいません



やめて  
譲くん

せんじゅどう  
千手堂の方にも  
呪詛じゆその種が  
あるのではと  
いう事で

神子様に  
調べていただき  
たいとの仰せ  
です

神子様…

銀ぎんのせいじゃ  
ないよ  
ごめんね

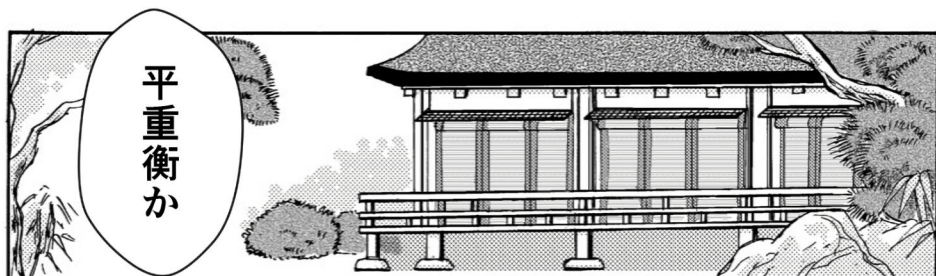
先輩、  
本当に  
大丈夫なん  
ですか？

やるよ！

神子にしか  
できない事  
だからね

強く  
ならなきゃ…





平重衡か



この呪詛に  
必要なのは  
そう

己の罪を  
責め続ける  
苦しみそのもの

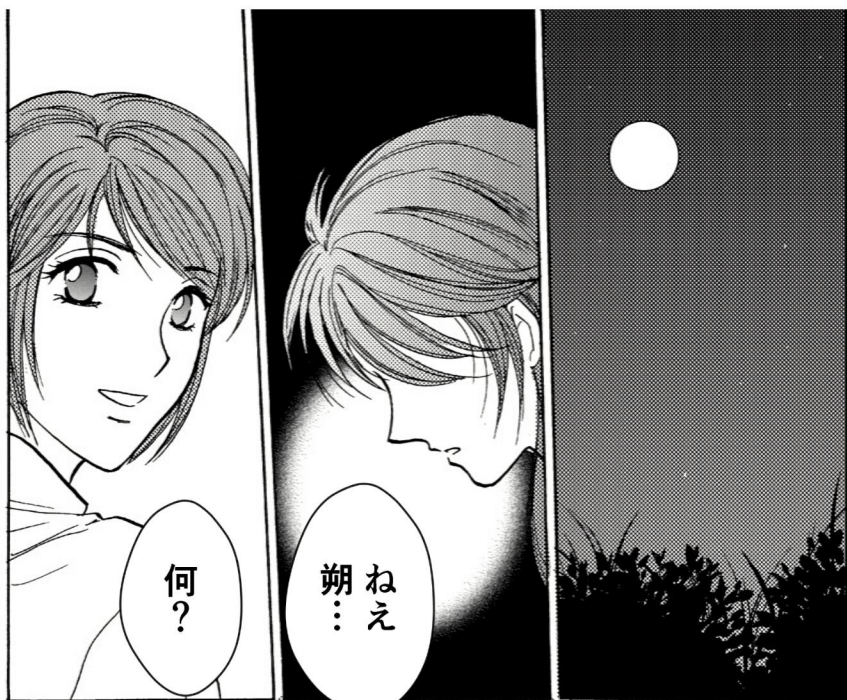
過去の栄華など  
思い出した所で  
何の役に  
たちましよう？



かつての平家の  
栄華をも  
思い出すことが  
あるのだろうか？

あら

必要なのは  
思い出す事では  
ありませんのよ



何？


ねえ  
朔…

朔はさ

もし、黒龍といった頃に  
戻る事ができたらって  
思わないの？

うーん






そうね…  
私は…

もしそう  
出来ても  
臆病だから  
いいわ

あの時に戻れても  
永遠に一緒では  
ないでしょう？



黒龍が  
変わらなくても  
私は人だから

それに  
戻れたとしても  
また辛い別れを  
覚えるなら  
いや…

私、あなた達に  
出会えた事に  
感謝しているわ

黒龍にも…  
だから…




いいの  
戻れなくて

あの頃も  
今も大事だから


さ、明日  
早いんでしょ？  
望美！

おやすみ  
朔…







じゃああんまり  
遅くならない  
ようにするね！



銀、これを  
望美さんに  
飲ませるように  
してもらえ  
ますか？




何の薬  
です？



実は、平泉に  
来てから  
望美さんに

喉に異物のような  
ものがあるから  
診てほしいと  
言われたのですが

特に何も無く、  
結局はわからず  
じまいなんです



あまり無理は  
させないよう  
お願いしますね





私たちは  
山道沿いに  
行こうよ！

集合場所は  
ここだよ  
いいな？

はい

よし  
手分けして  
探そう！

埋まっていれば  
この間のように  
何か異変がある  
はずですよ



さっそく  
あった  
かも！

早い！



あれ？  
今何か…







私たち  
飛ばされ  
ちゃったの？  
もしかして

どうやら  
そのよう  
ですね

見て下さい！  
あの山は  
金鶏山です  
神子様

えー？  
さっきいたところ？  
って事はここは  
反対側の山？

ここ  
どこ？

ええ  
おそらく  
たばしねやま  
東稲山です

とりあえず  
少しでも  
降りましょう

ずい分あります  
疲れたら  
仰って下さい







なんか…二人で  
散歩してるみたい…  
それどころじゃ  
ないのに…

でもキレイだな  
こんなに  
キレイだったっけ？

どうかなさい  
ましたか？

あ、  
ううん

キレイだって  
桜の紅いの

なんか  
久しぶり…

ええ





きれいです



ほら

本当です!

枝より  
神子様に  
見とれてましたよ

もー!  
すぐからかう!

おちおち

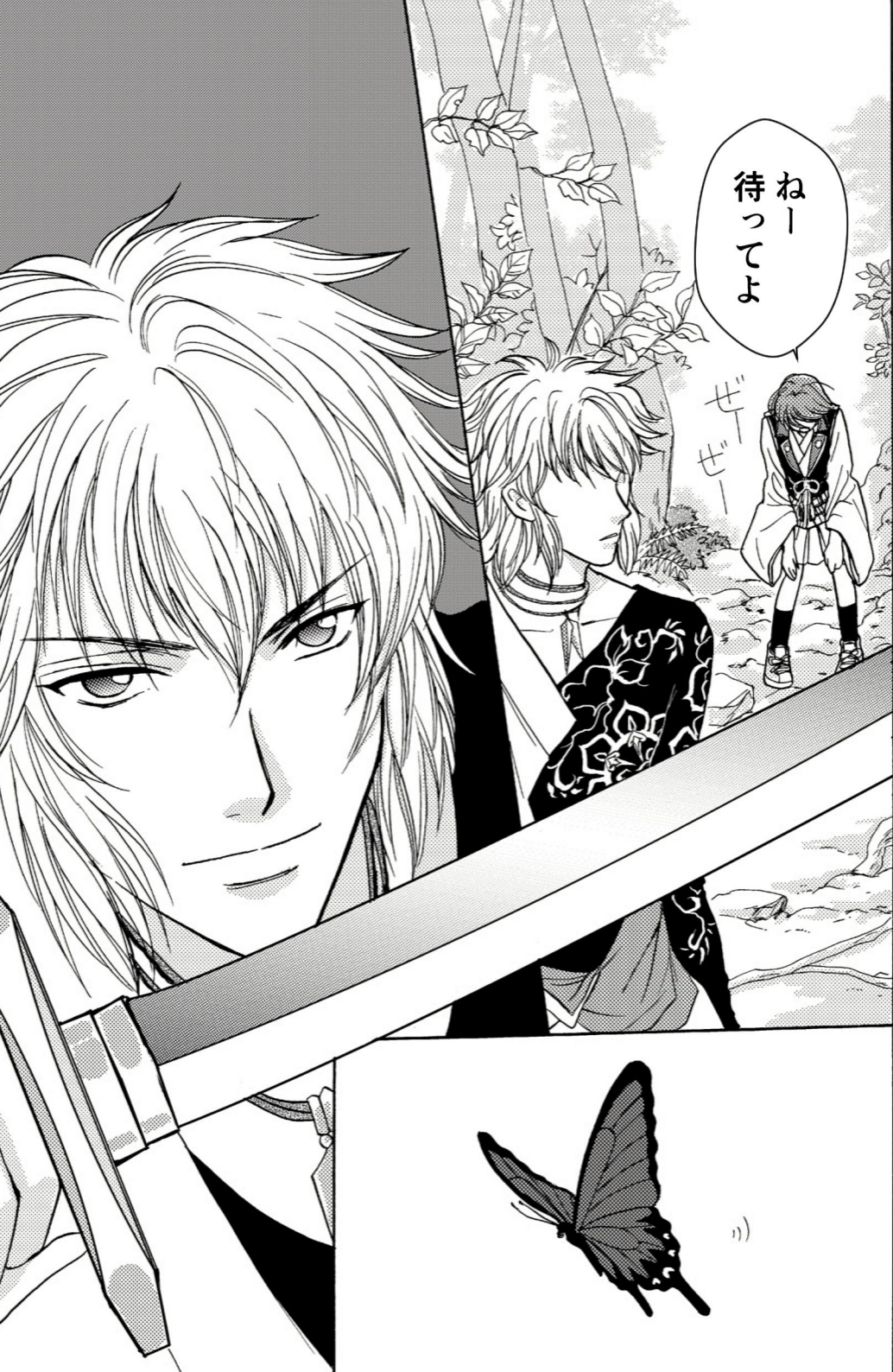


知盛は…  
待ってくれな  
かったな…  
いつもすぐ一人で  
先に行っちゃって

銀は…並んで  
歩いてくれる  
転びそうになると  
足を止めて心配  
してくれる…

あの時も  
こんな山道  
だったっけ  
…





ねー  
待ってよ

ゼー  
ゼー



))



なんで



なんでそう  
簡単に  
殺すの？

かわいそう  
とか  
思わないの？





いけないんだよっ！  
こんな風に命を  
粗末にするのは！

相変わらず  
くだらぬ  
事を言う…

いや…

面白い  
事か…

ク…

「生」にも

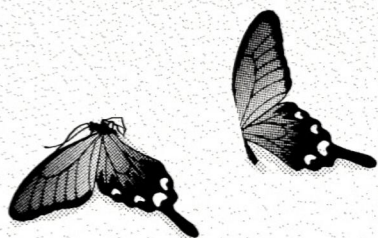
「死」にも

特別な意味などない  
一切の衆生は  
ただ生死を  
繰り返すのみだ

俺は浄土など  
信じぬ

そうだな  
浄土…

もしあると  
すれば…





願わくばそこは  
無限の「空」  
ゆるりと全てから  
解放されて

そんな「虚無」で  
あってほしい

ただ眠るだけの  
全て静止した

知盛…

今日はここを  
使わせて  
もらいましょう

え？  
いいの？  
勝手に？

誰もいないし  
構わない  
でしょう

かわみなと  
川湊に  
降りられたの  
かもしれま  
せんね

私のいた  
世界では  
ありえません…

では  
水を汲んで  
まいりますので

私も行く

神子様にあまり  
無理をさせぬ  
ようにと言われて  
いるのです

お薬も預かって  
いるのですよ

すぐに  
戻ります

神子様は  
休んでいて  
下さい



